

第69回 丹後織物求評会 開幕

経済産業大臣賞

第1部 後染織物

『紋紬 格子大』

篠春織物株式会社 (京丹後市網野町)



入賞作品決定!!

丹後織物工業組合では、第69回丹後織物求評会を11月13日(火)～15日(木)の3日間に亘り、「織物語－300年を紡ぐ 丹後の技巧－」をテーマに丸池藤井ビル3階展示場にて開催。初日の13日には、組合員機業25業者から出品された170点の作品について審査会が行われた。

審査会では高橋 忠嗣氏(大高株式会社 代表取締役会長)を審査委員長に、総勢17名の審査員によって「後染織物」・「先染織物」の各部門に別れて織技術、市場性、意匠面など細目にわたり厳格な審査が行なわれた。

その結果、栄えある経済産業大臣賞に後染織物部門(和装着尺)の「紋紬 格子大」(篠春織物株式会社)が選出された。このほか、中小企業庁長官賞に「唐織帯揚/藤棚」(株式会社一色テキスタイル)、経済産業省製造産業局長賞に「先染メッシュ横段」(篠春織物株式会社)と「三重織 サークルストーン」(篠春織物株式会社)、また農林水産省生産局長賞には「木賊ちぢみ 東雲」(田勇機業株式会社)、近畿経済産業局長賞に「帯揚 大畦 ウロコ」(株式会社ワタマサ)など12賞15点の入賞作品を選出するとともに、「300年が紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」が日本遺産に認定されたことを記念し昨年創設された「日本遺産特別賞」1点を選考した。(入賞作品および審査総評は裏面のとおり)

また、本年も第3部「男のきもの」部門については、求評会審査員及び展示会初日(14日)の来場者による投票によって入賞作品を選出する特別審査を実施しており、展示会2日目の15日に投票結果が会場内で発表される。

入賞作品

※第1部…後染織物 第2部…先染織物

経済産業大臣賞	第1部	紋紬 格子大	篠春織物(株)
中小企業庁長官賞	第1部	唐織帯揚/藤棚	(株)一色テキスタイル
経済産業省製造産業局長賞	第1部	先染メッシュ横段	篠春織物(株)
〃	第2部	三重織 サークルストーン	篠春織物(株)
農林水産省生産局長賞	第1部	木賊ちぢみ 東雲	田勇機業(株)
近畿経済産業局長賞	第1部	帯揚 大畦 ウロコ	(株)ワタマサ
京都府知事賞	第1部	変三越ちりめん	(有)松本機業
〃	第2部	御召 ベレスグワルド ウロコ	(株)ワタマサ
全日本きもの振興会会長賞	第1部	紋紗②	(有)三徳
京都織物卸商業組合理事長賞	第2部	千八 洋花更紗	江原産業(株)
日本絹人織織物工業組合連合会理事長賞	第1部	小紋300(防染糸)	(株)ワタマサ
日本絹人織織物工業会会長賞	第2部	全通九寸帯 三重織 華紋	(株)ワタマサ
織研新聞社賞	第1部	グラデーション横段変り無地	田勇機業(株)
丹後織物工業組合理事長賞	第1部	羊歯菱文	(株)ワタマサ
〃	第1部	東雲帯揚 経ヨリ呂半々	(有)梅徳機業場

日本遺産特別賞

第1部 木賊ちぢみ 東雲 田勇機業株式会社

《審査総評》

第69回丹後織物求評会のご盛会、誠にありがとうございます。2020年の丹後ちりめん創業300年に向かって、力作が多数出品されており感激しています。

いま現在、インバウンドのおかげで京都市内は着物姿の方々を多数見かけます。しかし、ほとんどの着物はポリエステルで、中国製が多いようです。最近よく聞かれる声として、「正絹で本格的な着物が着たい」との要望があります。これが実現しますと、着物づくりに携わる職人さんが潤うことにつながっていくと思います。

今回も八丁撚糸を使用した作品の中から日本遺産特別賞を選出させていただきましたが、シボが絶妙で優しい感じがしましたし、男のきもの部門の作品のなかに私自身が着たい生地もあり、是非購入したいと思わせる作品が多数出品されています。

今回は第70回と記念する求評会になります。丹後産地の技術がさらに向上し、ますます丹後産地が発展していくことを祈念し総評といたします。